

れいわ ねんどだい かいみ えけんしょう どうじしゃしえん
<令和6年度第1回三重県障がい当事者支援プロジェクト>

にちじ れいわ ねん がつ にち すい
日時:令和6年12月4日(水) 10:00~11:30

ばしょ みえけんごうどう かい ごうしつ
場所:三重県合同ビル1階 G101号室 または オンライン

さんかしゃ
参加者:プロジェクトメンバー 7名 会議参加者 2名

じむきよく めい
事務局 3名

かいぎ ないよう
○会議の内容

じ こしょうかい
(1)自己紹介

かいぎ かいさい ひさ じ こしょうかい
・会議の開催が久しぶりであったため、それぞれ自己紹介いただきました。

しょう どうじしゃしえん もくてき かくにん
(2)障がい当事者支援プロジェクトの目的やルールの確認

しかい き
(3)司会決め

おも きょうゆう はな あ
(4)思いの共有、プロジェクトで話し合いたいテーマについて

じてんしゃじょうしゃ じ ちゃくよう じてんしゃ めんきよせい
・自転車乗車時のヘルメット着用について。自転車も免許制にして、
めんきよ
免許があることをヘルメットで示すのはどうか。

あんぜんこうしゅう う こうつうあんぜん いしき たか
・安全講習を受け、交通安全の意識を高めること。

めんきよせい せきになかん やしな きけんうんてん じ こ ぶせ いしき
・免許制にすることで責任感が養われ、危険運転や事故を防ぐ意識づ
けができるのでは。

しせつじゅうじしゃとう ぎゃくたいじ あん どうじしゃしえん
・施設従事者等による虐待事案について。当事者支援プロジェクトと
して、何らかの形で関わるのはどうか。施設に入所している障がい
当事者から話を聞く機会があると良い。

ぎゃくたい お はいけい よういん なか
・虐待が起きる背景には、いろいろな要因があるだろうが、中には
労働環境が良くないことや、障がいに対する理解不足があるように
思われる。当事者の思いを伝えることが大切。

よ しえん あ かた かんが ひつよう ろうどうかんきょう よ
・より良い支援の在り方を考える必要がある。労働環境が良くないか
らといって虐待が許されるものではない。職員間のコミュニケーション
など、良い空気感が大切だと思う。

ふてきせつ こうい たい や こえ あ だいじ
・不適切な行為に対して、止めようという声を上げることが大事。
利用者に接する時には、思いやりをもって関わるよう、職業人として
の意識をもってほしい。

かまえ どうじしゃしえん ちいきかいさい かたち
・コロナ禍前までは、当事者支援プロジェクトの地域開催という形で、
施設へ行って当事者からの話を聞き、意見交換をしていた。研修に
も関わり、当事者の声を伝えていた。

どうじしゃしえん しょう どうじしゃ しえん ほんらい
・当事者支援プロジェクトは、障がい当事者を支援することが、本来の

もくてき おも
目的だと思ふ。

か こ し せつ に ゆうしょしゃ こうりゅうかい い
・過去に施設入所者との交流会に行ったことがあるが、地域で生活で
き そう な ひと し せつ く たい い けん
き そう な 人でも、施設で暮らしたいという意見があった。

ほんにん い し かくにん かだい
・本人の意思確認、アセスメントがきちんとされているかが課題。

せいしんしょう ふあんてい とき たいしよほう はな あ
・精神障がい で 不安定 な 時 の 対処法 について 話し合 いたい。

がっしょう しんしん たも
・合掌して、心身のバランスを保てるようにする。

てんき ふあんようそ かくにん ふあんてい
・天気などの不安要素を確認しておき、不安定になるかもしれないと
いう心の準備をしておく。

かんだんさ にがて うんどう からだ な
・寒暖差が苦手なので、運動して体を慣らすようにしている。

とうかつ ふくとうかつ き
(5) 統括、副統括決め

た
(6) その他

こんご とうじしゃしえん ほうこうせい おこな
・今後の当事者支援プロジェクトの方向性について、アンケートを行う。